

施策番号 5-1-2	施策名 住民自治の実現と地域の活力の維持	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり			
		政策名	多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり			
	主管課	企画財政課	課長名	石田 哲	内線	220
	施策関係課	総務課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果
地域の活力を維持し、住民自治を実現させ、より良い地域づくりをすすめます。		町民 町に愛着や誇り を持ち係る人		・町に愛着や誇りを持ち、地域のために活動する			まちづくりに係る人が増えることで地域の活力を維持する
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度(予想)	2022年度目標	
① 地域の活動に参加している町民の割合	住民意識調査	%	45.7	49.2	45.0	55.0	
② 芽室町が好きな町民の割合	住民意識調査	%	96.8	93.0	95.0	95.0%以上	
③ 芽室町に住み続けたいと思う町民の割合	住民意識調査	%	95.8	94.4	95.0	95.0%以上	
④							
成果指標 設定の考え方	①策定時の値+10ポイントを目標に設定した。 ②策定時の値が非常に高いことから、その値を維持することを目標とした。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ③策定時の値が非常に高いことから、その値を維持することを目標とした。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算
施策事業費(千円)	132,434	121,216
人工数(業務量)	1.9042	3.1422

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2019年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①の成果指標は前年度を上回ったが、②③の成果指標は下回っており、「成果は変わらなかった」と評価した。
②2022年度の目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、①の成果指標については、下がっていく傾向にあると思われる。このため、新たな取り組みを検討していく必要がある。
(2) 施策の成果評価に対する2019年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	町民参加推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・めむろまちづくり参加条例に基づき、町民参加を推進した。 ・3地域集会施設について、改修を行った。 ・移住フェアや移住ドラフトなどに参加し、定住・移住対策を強化した。 ・シティプロモーションに対する町としての考え方を整理した。 ・市街地町内会連合会と連携協定を締結した。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 人口減少が進むなかで、住民自治の重要性はますます高くなっているが、地域活動を好まない人たちは増えている。 《今後の予測》 郷土愛を育てていくことが、最終的には住民自治の実現と地域の活力維持につながると考えられる。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の未加入世帯対策が必要である。 ・地域集会施設については、住民合意をとりながら、再整備を進める必要がある。 ・移住対策の強化が必要である。 ・シティプロモーションの考え方を整理する必要がある。

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ・町内会活性化のため、市街地町内会連合会と町が協働した取り組みを検討する。 ・災害に強いまちづくり、地域活動の活性化を勘案した地域集会施設の再整備を進める。 ・転勤族などを対象とした新たな移住対策を検討する。 ・シティプロモーション戦略を策定し、郷土愛を育む。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	成果指標は1つを除いて策定時より下がっているが、市街地町内会連合会と連携協定を結んだことにより、町内会活性化に向けて取組が開始されたことや、定住・移住対策の強化などから前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	郷土愛の醸成については、関係課と連携して進めてもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した 					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価と同じく策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりについて、企画立案の段階から参加するプロセスが見えるようにしてほしい。 ・自治基本条例について、もっと町民に広く知ってもらうような工夫をするべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した 					